

野木町 議会 だより

第148号
令和7年2月1日

令和6年12月定例会



暁の松原大橋

会期日程・議案の審議結果・陳情	②～③
議案ピックアップ	④
討論	⑤
中学生傍聴・研修報告・委員会視察調査報告	⑥
「町民と議会による意見交換会」実施報告	⑦
委員会視察調査報告	⑧～⑩
一般質問	⑪～⑲
賛否の分かれた案件・議会の主な活動記録	⑳

令和6年 第6回 野木町議会定例会

11月29日（金）から12月6日（金）までの8日間の会期で12月定例会が開かれ、町長から提案された議案11件と陳情1件を審議しました。
各議案の審議結果は次のページのとおりです。

会期日程

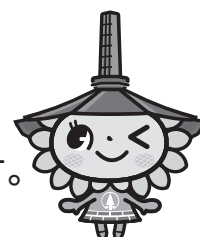
11月29日(金)	本 会 議
11月30日(土)・12月1日(日)	休 会 (議事調査日)
12月 2日(月)	一 般 質 問
12月 3日(火)	一 般 質 問
12月 4日(水)	文教民生常任委員会
12月 5日(木)	休 会 (議事調査日)
12月 6日(金)	本 会 議



野木町議会からのお知らせ

議会を傍聴しませんか？

次回の定例会は令和7年3月4日（火）から開会予定です。



12月定例会議案審議結果

議案番号	件名	賛成・反対	議決結果
第 1 号	野木町国民健康保険条例の一部を改正する条例	全員賛成	可 決
第 2 号	専決処分事項(専決第 7 号)の承認を求めること	全員賛成	承 認
第 3 号	令和 6 年度野木町一般会計補正予算(第 7 号)	全員賛成	可 決
第 4 号	令和 6 年度野木町国民健康保険特別会計補正予算(第 3 号)	全員賛成	可 決
第 5 号	令和 6 年度野木町介護保険特別会計補正予算(第 2 号)	全員賛成	可 決
第 6 号	令和 6 年度野木町後期高齢者医療特別会計補正予算(第 2 号)	全員賛成	可 決
第 7 号	令和 6 年度野木町下水道事業会計補正予算(第 1 号)	全員賛成	可 決
第 8 号	指定管理者の指定 ※あかつか児童センター及び新橋児童館	賛成多数	可 決
第 9 号	固定資産評価審査委員会委員の選任につき同意を求めること	全員賛成	同 意
第 10 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めること	全員賛成	適 任
第 11 号	専決処分事項(専決第 4 号)の承認を求めること	全員賛成	承 認
陳 情 第 1 号	国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書	賛成少数	不採択

※色付きの案件は賛否が分かれたものです。賛否の詳細は20ページに掲載しています。

陳情第 1 号

国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書

文教民生常任委員会に付託された事件

○提出された陳情の要旨

以下の 2 点について、国に対し意見書を提出することを求める。

- ①マイナ保険証の取得は、申請による任意の判断に基づくとの原則を明確にする
- ②マイナ保険証に対する国民の不安が払拭されるまでは、現行の健康保険証を存続させる

○委員会審議結果：賛成少数により「不採択とすべき」

- 〈主な意見〉・移行によるトラブルが解消されないまま現在に至っており、現在のマイナ保険証の使用率は 15.7%とされている。
- ・陳情の主旨に国民の不安が払拭されるまでとあるが、その用途をどう定義するかが課題であり、また、当該制度がもたらす効果にも着眼すべきである。制度改正にはトラブルがつきもので、国はその都度解消を図っている。 など

○本会議議決結果：賛成少数により「不採択」

気になる議案をピックアップ! ~12月定例会~

議案第3号

1億9,451万円

令和6年度野木町一般会計補正予算(第7号)

歳入歳出予算の総額にそれぞれ1億9,451万円を追加し、予算総額を95億3,529万円とするものです。

〈主な内容〉

・自立支援給付事業(1億338万円)

日常生活用具給付事業、介護給付・訓練等給付費、障がい児給付費の各申請数が増加したことによる予算措置です。

・結婚新生活支援事業(420万円)

結婚後の新しい生活を応援するため、新居の購入費用等の一部を助成する事業の申請数が増加していることを見込まれるために予算措置するものです。

・こども医療費助成事業(897万円)

0歳~18歳までの医療費助成制度の利用者が増加していることに伴う予算措置です。

・小学校施設改修事業(260万円)

野木小及び佐川野小で消防設備点検の際に指摘された不良箇所を改修するものです。

・中学校施設改修事業(800万円)

野木中の消防設備の不良箇所改修工事、野木二中体育館の雨漏りに対応するための防水改修工事及び放送設備の故障による改修工事を行うものです。

・中学校一般給食事業(466万円)

野木中給食室のスチームコンベクションオーブンが故障したため、新たに購入するものです。

※上記の他に、国庫・県支出金返還金や特別会計への繰出金、職員給与等の人件費増額などがあります。

議案第8号

指定管理者の指定について

あかつか児童センター及び新橋児童館の指定期間満了に伴い、指定管理者を指定するため、議会の議決を求めるものです。

1. 指定管理者が管理する施設の名称
 - ・あかつか児童センター
 - ・新橋児童館
2. 指定管理者となる団体
シダックス大新東ヒューマンサービス株式会社
3. 指定期間
令和7年4月1日~令和12年3月31日まで

議案第9号

固定資産評価委員会委員の選任につき同意を求めること

委員の任期満了に伴い、委員の推薦について意見を求めるものです。

田村 司 氏(新任) 大字南赤塚在住

議案第10号

人権擁護委員の推薦につき意見を求めること

委員の任期満了に伴い、委員の推薦について意見を求めるものです。

岩崎 安一 氏(再任) 大字南赤塚在住



討論

指定管理者の指定について

※討論は本人が要約して執筆

反対 宮崎 美知子 議員

①両館の管理運営のあり方を、根本的に見直すべきです。

今回も、公募に応募したのは人材派遣会社1社だけでした。町は、町民との協働を謳うが、このような事業こそ、高根沢町や小山市のように地域の子育て文化を築きたいと思っている女性たちとの協働を構築できないのか。町民との協働は職員にとっても町の自力をつけることになる。

②物価高騰下の5年間という長期間、こんな僅かな上げ幅でいいのでしょうか。

両施設の指定管理費合計は1億6,582万円で年額3,316万円。前回3年前より116万円、3.6%増。この程度の上げ幅では、値上がり著しい電気料金や最低賃金の引き上げに伴う現場人件費増にも足りません。町職等のこの間の月額給の引き上げと6%の地域手当は、指定管理下の女性には考慮されません。

討論

国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情について

※討論は本人が要約して執筆

賛成 宮崎 美知子 議員

陳情の趣旨は、現行の健康保険証を存続させ、マイナ保険証との選択制だった原点に立ち返り、マイナンバーカードの取得を強制するべきではないというものです。以下討論します。

①マイナ保険証一本化は、ビッグビジネスを生み出したい財界・大企業と、国民の所得等をマイナンバーに紐づけることで把握し、税の負担増と社会保障の給付削減という政府の思惑が重なり、今の事態となっている。マイナ保険証を全国民が持たなければ、国民の情報を集約・把握できない。だから、マイナンバーの取得は任意なのに、事実上、強要しようとしている。

②マイナ保険証一択では、無保険状態が生まれることは避けられない。

③立憲民主党は先月、保険証廃止延期法案を衆院に提出。与党過半数割れの国会で地方から存続の声を上げていく意義は大きい。

反対 眞瀬 薫正 議員

不採択の立場から討論いたします。本件は電子情報の誤登録などに対する不安感を払拭できるまで現行の保険証を存続させるべきとの主旨であります。複数のカード所持の煩わしさが解消されることや、急な病気やケガでかかりつけ医以外の医療機関や薬局を利用する際に、既往歴や服用歴を正確に把握し、自分自身に適切な医療処置を受けられることなど、その利便性に関する一定の理解は得られていると考えます。

紐づけをされていない方々には、従前のおり紙の保険証を利用して受診でき、資格確認できずに窓口で10割負担となった場合にも保険者から保険給付分を返金されることとなっております。

野木町議会は、今回これらの制度改革に伴う関連議案を全員賛成で可決しています。不採択とすることにご同意願います。

中学生が議会を傍聴しました！

12月2日（月）・3日（火）野木中学校と野木第二中学校の3年生が一般質問を傍聴しました。社会科の授業で公民的分野を学んでいる中学3年生に、少しでも野木町議会を身近に感じてもらいたい、政治に興味を持ってもらいたい、という思いで、議員も気持ちを一層引き締めて一般質問に臨みました。

中学生の感想を一部ご紹介します。

- ・議会に興味はなかったが、傍聴して「もっと聞きたい」と感じた。
- ・授業ではイメージできなかったが、町をよくするために一生懸命話し合いをしていて、自分も野木町についてもっと考えてみようと思った。



- ・野木町をより良いものにするために様々な事業や施策が実施・検討されていることがわかった。
- ・教科書で見たことや先生から聞いたことを自分の目で見て、習ったことを深く理解することができた。
- ・まるで国会を縮小したようでおもしろかった。
- ・教科書だけでは学ぶことのできない身近に関する話が聞けて、野木町は未来のためにいろいろ頑張っていることがわかった。



議員研修報告 栃木県町村議会議員研修会

11月19日（火）に栃木県総合文化センターにおいて開催された「栃木県町村議会議員研修会」に参加しました。

東北大学大学院准教授の河村和徳氏による「議員のなり手不足対策と議会改革」という講演内容で、議員定数に対する考え方や地方議員の議員報酬、議員に立候補することや制度的な障壁など、多岐に渡ったお話を伺いました。

まずは野木町議会でも今以上に議会改革に取り組むことが重要であることを再認識してきました。



委員会視察調査報告 総務経済常任委員会

11月15日（金）にゼブラ株式会社野木工場への企業視察訪問を実施しました。

〈視察目的〉

町内企業の事業内容や展望（計画）の把握により、官民一体のまちづくりに資する施策を検討するため。

ゼブラ様の取組などについて詳しく説明をいただいた後、工場内を見学させていただきました。

お忙しい中、ご協力いただきありがとうございました。



令和6年度 「町民と議会による意見交換会」実施報告(概要)

野木町議会では、平成30年度より「町民と議会による意見交換会」を行っています。

今年度は、多くの方々に参加していただけるよう、参加者募集や意見交換会に新たな試みを講じて開催しました。

- ①若者・子育て世代（18歳～49歳）を募集対象としたことから、日中仕事をしている方の参加を考慮して、開催日時を土曜日の午後と平日の夜の2回に分けて実施した。
- ②子育て世代を対象としていることから、子ども連れでの参加大歓迎とした。
- ③参加申し込みは電話に加え、野木町オンライン申請システムを利用した申し込みとした。（議会だよりの募集記事にQRコードを掲載）
- ④形式にとらわれずリラックスして意見交換ができるように、各回とも参加者、議員を2グループに分けて少人数のワークショップ形式で行った。

◆第1回

- ・日時：令和6年11月16日（土）
午後1時30分～3時30分
- ・場所：公民館2F和室
- ・参加者：9人
議会だよりの編集委員・文教民生常任委員 10人



◆第2回

- ・日時：令和6年11月20日（水）
午後7時～9時
- ・場所：公民館2F和室
- ・参加者：9人
議会だよりの編集委員・総務経済常任委員 8人



【意見交換】

「住みやすい野木町にするために」をテーマとして、参加者の方々から申込時に頂いていた内容の他にも多くの事柄について、時には笑いを交えながらなごやかな雰囲気での意見交換が進み、あっという間の2時間でした。

ご出席いただいた皆さまには、お忙しい中ご参加いただきありがとうございました。世代や立場は違っても野木町を思う気持ちに変わりはなく、皆さまとの意見交換で出たご意見はどれも参考になるものばかりでした。

今回頂いた貴重なご意見を参考に、今後の活動に活かしていきたいと思っております。

魅力のあるまちづくりについて

委員長 坂口 進治

令和6年10月30日 神奈川県松田町 「駅周辺の整備事業について」

現状の駅前広場が、バス、タクシー、一般車、歩行者等の円滑な処理に対処した規模を有しておらず、乗降場の配置や動線の確保が不十分であり、大型ショッピングセンターもなく、商業地域としてのポテンシャルが未活用であり、利便性に欠ける駅前を改善する目的で、平成26年に調査を実施し平成31年に基本計画を策定し、完成目標は令和11年5月です。

整備すべき4つの機能について、①交通結節点としての駅前広場の整備、②駅前環境としての商業・業務サービス機能、③町の情報発信基地としての公益的機能、④持続的なコミュニティ形成としての住宅機能。総事業費約149億円 ①橋上駅15億円、②駅前広場整備14億円、③集約施設整備費120億円（町負担額15.6億円）

「公共交通の導入について」

松田町地域公共交通総合連携計画に基づきデマンド実証運行と実績を踏まえ、運行補助や定期券補助など公共交通サービスを図ってきたが、時代に沿った持続可能な移動手段の確保や地域課題解決のため、AIオンデマンド交通システム運行の実証実験を行った。

【予約】 スマートフォンや電話で配車予約

【運行日】 年末年始を除く毎日運行 【運行時間】 午前6時30分～午後10時



松田町役場での研修の様子

令和6年10月31日 神奈川県山北町 「防災について」

山北町地域の特性として、丹沢山地から足柄平野への地形変換点であり、歴史的に土砂災害洪水が多く発生しています。また、富士山の火山火災の可能性もあります。

【災害用通信・情報伝達手段の整備状況】 ①防災行政無線47局、②移動系無線機95機、③デジタル戸別受信機441台、④IP無線機5機などを常備しています。

【防災訓練の実施状況】 ①総合防災訓練：6連合自治会が交代で町と協同して年1回実施

②自治会の自主防災訓練：各自治会がそれぞれの地域の特性を考慮して年1回実施

③職員防災訓練：役場職員を対象に年2回実施

山北町独自の取り組みとして災害時に、連合自治会が簡易水槽（350ℓ）2セットを所有し救援活動に役立てています。

また、防災・危機管理職員として退職自衛官を採用しており、雇用に際しては特別交付税の交付対象となっています。

今回の研修では大変参考になりました。



山北町議会議場にて

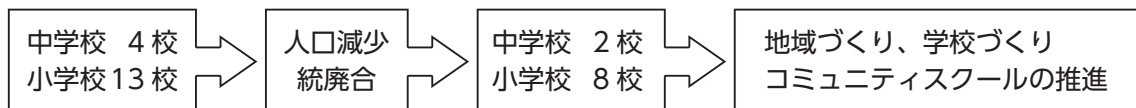
今回調査した二つの町については、個々の事業に違いはありますが、共通点は首都圏からの利便性を活かしたまちづくり、松田町の駅前開発や山北町の防災の取り組みなど、安全・安心で快適な生活を目指すまちづくりを野木町も参考にしたいと思います。

教育及び町民生活に関する所管事項

委員長 小川 信子

令和6年10月17日 栃木県那須町

「コミュニティスクールの概要（学校づくりと地域づくりの構造）について」



町立学びの森小学校は平成28年4月に創立され、現在の在校生は82名で、佐川野小学校との交流も行っています。コミュニティスクールの推進のため、学校運営協議会は年5回開催していて、第2回学校運営協議会では委員が6年生との熟議を行い、子どもたちの夢だったハンモックの森を実現しました。そのことで、子どもたちの意識に「自分たちも地域の中の一員だ」といった自覚も芽生えてきたとのことでした。

研修を通じて、コミュニティスクールをより活発に実践していくためには、学校を中心とした地域コミュニティをどのようにしていきたいか、社会教育主事を柱として教職員・地域住民・子どもたちで熟議を重ねることが重要だということを認識しました。



那須町議会議場にて

令和6年10月18日 福島県西郷村 「高齢者福祉及び子育て支援について」

【高齢者福祉事業の主なもの】

- ・高齢者等おかえり・見守り事前登録事業

認知症等により徘徊するおそれのある高齢者等を警察などの協力を得て早期発見・保護するための事業。令和5年11月1日から開始。

- ・高齢者補聴器購入費補助金交付事業

難聴により日常生活を営むのに支障のある高齢者に対し、補聴器購入費を補助する事業。

令和5年4月1日から開始。令和6年4月から対象年齢の引き下げ、住民税非課税世帯の条件を撤廃したことから、交付申請者が増加。

- ・介護者激励金支援事業

要介護3・4・5の認定を受けた方を在宅で6か月以上介護している方の労を労うために介護者に激励金を支給する事業。

【子育て支援 キッズランドにしごう】

子どもたちに安全な屋内遊び場を整備し、遊びを通じた運動によりストレス解消を目的とし、体育館を改修し、平成25年3月23日に開設。利用対象は0歳から小学6年生までの児童とその保護者。利用料は無料。

高速交通網が整備されていて都市的な面と自然豊かな面が共存する西郷村は、高齢者支援、子育て支援の充実で人口が増加している状況です。



西郷村役場での研修の様子

議会改革について

委員長 鈴木 孝昌

令和6年10月10日 福島県会津若松市

「通年議会の設置」および「住民との意見交換会について」

【通年議会導入の経緯】

地方分権に備えた制度や議会運営を行うべく、主権者である住民の意見を政策に反映させるため、「意見交換会」→「広報公聴委員会」→「各派代表者会議」の順に会議等を開催し、意見聴取、課題解決に向けた政策立案、事後評価といった一連の活動を1年間継続的に繰り返す「通年議会」を令和4年に導入し、議員の任期である4年間をひとつの政策サイクルと位置づけて住民福祉の向上に繋げています。

【住民との意見交換会の実施状況】

議員を常任委員会などで構成する5班4分科会に割り当て、15地区で年に2回地域の問題に適したテーマで意見交換を行っています。住民からの意見は議会で協議のうえ、政策として練り上げて執行機関へ提案し、また、その活動経過や結果を住民の方々へ情報提供（報告）します。



会津若松市での研修の様子

令和6年11月11日 福島県会津坂下町

「ばんげ未来トーク（意見交換会）」と「本会議のインターネット中継等」について

【ばんげ未来トーク】

平成21年から庁舎開催としていた「議会懇談会」を、平成29年より議員を地域へ派遣する方式に変更し名称を「ばんげ未来トーク」と改称することで、より多くの町民参加を図り、現在は年に7～8回の開催となっています。

5名以上のグループを対象に議員を派遣し、派遣された議員は広報公聴委員会へ報告書を提出し、各々の行政課題を所管する常任委員会が課題検討にあたります。

委員会の検討結果は議員全員で協議・検証を行い、最終的には提言書を議長名で町長へ提出（提案）します。

【議会インターネット録画配信】

当初は、本庁舎と各公共施設を専用回線で結ぶ「地域イントラネット基盤整備事業」に併せて議会中継に要する機器の整備を行い、議会のライブ中継を始めましたが、視聴する場所や時間帯が限られてしまうため、平成27年よりインターネット配信へ切り替えました。



会津坂下町議会議場にて

※今回の行政視察では広報公聴委員会の役割・活動の重要性や具体性、議会中継のノウハウや課題など、数多くの情報を得ることができました。両議会で得た先進的な取り組み事例を活かせるような議会改革の在り方を検討してまいります。

【質問要旨】

1. 平地林について
2. 県指定の大塚古墳について
3. 野木町道の駅構想について
4. 獣害対策について



針谷 武夫 議員

問 年々減少している平地林に対し、町として対策はあるのか伺います。

答 町内に広がる貴重な自然環境や豊かな緑資源を将来にわたって継承していくため、平地林の保全を重点施策に位置づけ、森林所有者の意向を把握しながら、国・県等の森林環境譲与税や元気な森づくり事業等の制度を活用し、保全を図っていきたいと考えています。

問 平地林は、民間の方の所有であり、町とお互いの話し合いの中で信頼関係をもって、協力をお願いすることが大切だと思います。町の考えを伺います。

答 町では、所有者との信頼関係をもって協力していければと考えています。意識調査で町がすべきことを方針として定め、平地林の保全に繋げていければと思います。

問 現在の道の駅構想の内容について伺います。

答 平成27年から役場内の組織である道の駅研究会で、継続的に調査研究を進めてきました。再度検討委員会を立ち上げ、野木町ならではの特色を生かした他にない道の駅の実現に向けて構想を立上げ、検討を進めたいと考えています。

問 予算や時期・規模などは、検討中の今の段階でどうなのか伺います。

答 国で位置づけている「地方創生、観光の拠点」としての機能、防災拠点、ゼロカーボン、環境にやさしい道の駅としての機能を持たせながら検討していく考えです。

問 大塚古墳は県指定の文化財となっているが、この経緯はどうなっているのか伺います。

答 昭和15年当時、国が紀元2600年記念古墳調査というものを行い、その結果に基づいて、大塚古墳は重要で価値のあるものとして指定に向けて動いたと推測されます。



大塚古墳標柱

問 現在、古墳や周りの林を所有者が管理しているが、県の指定であり、何らかの形で町の支援というものはないのか伺います。

答 現状のところは、町支援はないという回答になります。

問 町の獣害被害対策実施隊は14名ですが、すべての人が狩猟免許を持っているのか伺います。

答 狩猟免許は、14名中10名の方が所有されています。

問 狩猟免許が無くても、多くの方の協力を得ながら地域を守るために、獣害被害対策実施隊の募集等はあるのか伺います。

答 農業者を中心にその地区の地形が分かっている方にも今後呼びかけ、一人でも多くの隊員として活動していただけるよう進めていければと考えています。

【質問要旨】

1. 「町の宝 子育て応援を問う！」
妊娠・出産・育児等子育てに
対する町の姿勢について

折原 勝夫 議員

問 今年7月、私は、兵庫県明石市の「子育て応援」について調査して参りました。

明石市では、0歳児養育家庭に定期的に関わり、見守りを続けることで、育児に関する不安や悩み、心配などから誰ひとり取り残されることのないよう、早期の支援に繋げていくことを目的として、「0歳児見守り『訪問おむつ定期便』」を令和2年から実施しています。



子育て経験のある「見守り支援員」が、不安や悩み、心配なことなどがなければ声をかけ、子育てのアドバイスや赤ちゃんと保護者の見守りを行い、相談内容に応じて、市の子育てサービスや子育て関連施設、関係部署を紹介し、保護者と市の連携を行っています。

保護者や赤ちゃんと出会うきっかけとして、3,000円相当の紙おむつ等の赤ちゃん用品と、赤ちゃんの健やかな成長に役立つ、月齢ごとの「子育て情報誌」を生後4か月から満1歳の誕生日まで、毎月無料でお届けしています。

この事業の申請率は、令和4年度で99.8%、令和5年度で99.6%となっているそうです。

本町でも、産後1ヶ月から2ヶ月の「赤ちゃん訪問」の後、このような「0歳児見守り支援」はいかがでしょうか、伺います。

答 大切な赤ちゃんが、1歳に至るまでは、お母さんも大変お忙しく、買い物等も不便だと思いますので、今後、毎月というところまでいくかどうか分かりませんが、そのような明石市の例も参考にしながら、お母さんが育児等で悩まないように、町として「寄り添い」が出来ればと思っています。

問 次に、明石市では、「あかし子育て応援アプリ」を立ち上げ、明石市の子育て関連情報を、いつでも、どこでも、便利に検索できるようにしています。

また、ユーザー登録すれば、登録されたお子さんの年齢や出産予定日に合わせて、必要な情報を市から直接スマートフォンにお知らせできるようになる、いわゆるプッシュ型の情報発信を行っています。

本町でも、このような取り組みいかがでしょうか、伺います。

答 現在、ホームページ等で情報発信を行っておりますが、今後は、「X」や「LINE」等のSNSを活用して、プッシュ型の情報発信を行いたいと思いますし、専用アプリの活用に関しては、今後調査研究して参ります。

問 最後に、今後の具体的な町の子育て応援について伺います。

答 昨今の気象状況を考えますと、公園等屋外で遊ぶだけでなく、屋内の「全天候型で自由に遊べる場所」が設置できればと考えております。

この事に関しては、町民アンケート等で、保護者の方からの要望も多数寄せられておりますので、今後検討して参ります。

【質問要旨】

1. 少子高齢化時代に沿ったまちづくりについて



坂口 進治 議員

問 少子高齢化が進む10年後の町が目指すまちづくりについて伺います。

答 昭和57年から始まったローズタウンの分譲により、首都圏のベッドタウンとして人口が増加してきましたが、分譲から40年以上が経過し、現在様々な課題が生じてきています。中でも、同時期に整備された住宅に一齐に同世代の入居が進んだことの影響で、子供たち、若年世代の転出による人口減少、居住者の高齢化、建物の老朽化、空き家の増加等が一齐に進行し、自治会や地域活動の担い手不足も伺っています。

今後のまちづくり施策については、まちづくり推進会議の意見や町民アンケートを踏まえ、新しい総合計画を令和7年度に策定したいと考えています。

まちづくり施策として、高齢者が自立して健康に暮らし続けるサービスや支援の充実、安心して子育てができる支援や環境づくり、公共交通の利便性の向上、企業誘致や職場の提供、改修、改築の支援や空き家バンク運用の促進、若い起業家への移住定住促進、高齢者向け住宅施設の整備促進等があると思います。

問 神戸市は「認知症の人にやさしいまちづくり条例」を国内で初めて制定していますが、野木町も条例を作る検討をしたのか伺います。

答 町では条例策定以前に、認知症支援に対して力を入れており、高齢者福祉計画・第9期介護保険事業計画の重点事業としています。今後、10年、20年先に、神戸市の条例等も検討していく必要があると認識しています。

問 神戸市の認知症の条例施策の中で、市民への啓発と児童・生徒への教育の推進があるが、野木町の状況について伺います。

答 町内の全小中学校で、認知症の方々への接し方について出前授業を行っています。



神戸市北区の認知症啓発強化月間ポスター

問 野木町幼保小中連携事業の実態と成果について伺います。

答 幼保小中連携事業は、町内の幼稚園、保育園と小学校、小学校と中学校が相互連携し、子供たちが環境の変化に戸惑うことなく安心して学び続け、教育効果をより一層高めることを目的とした事業です。

町内幼稚園、保育園及び小・中学校の教職員、こども教育課や健康福祉課職員などで構成する野木町幼保小連携協議会において、年4回の研修会や情報交換会を開催しています。

問 人口減少による少子化で、中・小学校統合を含めた今後の検討について伺います。

答 現状では今後数年は児童・生徒数の大きな減少は見込まれません。統廃合について検討の段階ではないと考えます。

それぞれの学校で地域や子供の実態に即した特色ある教育活動を展開しています。

【質問要旨】

1. 町の安全・安心について
2. 地域再生計画について
3. 移住定住について



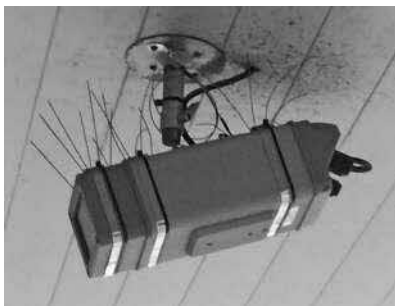
小泉 良一 議員

問 町の安全・安心についての防災無線について伺います。

答 安全で安心なまちづくりを目指す中、災害情報を町民の皆様に伝達するため、平成27年度より計画的に整備を進めているところで、地震や台風、ゲリラ豪雨など、自然災害に関する情報や、選挙に関する周知など、重要なお知らせを発信しています。

問 防犯カメラについて伺います。

答 現下の首都圏における凶悪強盗犯多発の傾向を鑑みましても、防犯カメラの設置は重要な施策の一つと捉え、抑止策として力を入れてまいりたいと考えています。町では、区や自治会を対象に防犯カメラ設置費補助制度を令和6年4月より実施しており、設置に要する費用の3分の2で20万円を限度に補助する事業です。また令和7年4月より家庭用防犯カメラ設置費補助制度を開始したいと考えています。



駅の防犯カメラ

問 災害対策について伺います。

答 町では、水害や地震を想定した全町避難訓練を2年に1度実施しています。災害対策として、災害用備蓄品の整備や災害協定の推進を図っており、備蓄品としてはアルファ米など6,000食ほど備蓄しています。また、ワンタッチパーティションや段ボールベッド

等の備蓄に努めています。

問 地域再生計画について伺います。

答 地域が行う自主的かつ自立的な取組に対し国が支援メニューを決定しており、その支援を受けるため地方公共団体が作成するもので、町の地域再生計画は4つあります。そのうち野木町まち・ひと・しごと創生推進計画は、企業版ふるさと納税制度の措置を受けるために作成したもので、この財源により計画に掲げた事業を推進していくものです。

問 地域再生計画を図るために行う事業について伺います。

答 企業版ふるさと納税制度を活用し、4つの事業を推進するものとなります。

稼ぐ地域をつくり安心して働けるようにする事業、人を呼び込み、新しい人の流れを作る事業、結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる事業、ひとが集い、安心して暮らすことができる地域を作る事業を設定しています。

問 計画の方向性について伺います。

答 令和6年度末をもって企業版ふるさと納税制度が終了するため、本計画も終了となります。

問 移住定住支援について伺います。

答 平成27年度より、人口減少を抑制するとともに、特に若い世代の定住を促進し、地域の活性化を図ることを目的とする定住促進補助金の交付を行っています。

【質問要旨】

1. コミュニティスクールについて
2. 町の情報発信について
3. 移住・定住促進事業について



久木 亘佑 議員

問 学校運営協議会を構成している人員について伺います。

答 各小中学校9名以内の委員で構成されています。現在7校56名の方が活動しています。委員として校長、保護者、地域住民、幼稚園又は保育園の関係者、その他教育委員会が適当と認めた方が選任されます。

問 年間どれほど協議を開催しているのか伺います。

答 年間4、5回程度開催しています。教育委員会も参加して中学校区での協議も行い、情報交換にも取り組んでいます。今年は、那須町教育委員会の方を講師として招き研修会を実施しました。

問 学校運営協議会を通じて各学校ではどのような取組をしていますか。

答 一例を挙げますと小学校では、コミュニティ運動会、放課後子ども教室等があり、中学校では、総合的な学習の時間の中で体験活動、キャリア教育、部活動の指導等に地域の方から協力をいただいています。

問 各学校の地域コーディネーターは何名いますか。

答 南赤塚小学校、野木中学校を除き各学校に1名ずつ在籍しています。2校については、現在選出中となっています。

問 防災アプリの導入を検討しているのか伺います。

答 防災アプリを町単独で作成したものはありませんが、「Yahoo!防災速報」というア

プリを活用しています。登録者数は6,490名います。



iPhone、iPad



Android

「Yahoo! 防災速報」ダウンロード用QRコード

問 各SNSについて、情報のすみ分けをしているのか伺います。

答 現在情報のすみ分けは行っていません。セグメント配信を導入している自治体もありますので、登録者の増加、利便性の向上のために考えていきたいと思えます。

問 今回の地域おこし協力隊にどのような期待をして募集したのか伺います。

答 YouTube等を活用して野木町における農商工の魅力を含めた発信をして、移住定住につなげていただきたいと思います。

問 地域おこし協力隊の空き家活用促進について、ロードマップの素案を伺います。

答 空き家の現状把握、相談を行い空き家所有者にアンケート調査、回答いただいた方から協力隊員がリフォームを行い、その後賃貸として活用する、大家ビジネスが構築できればと考えています。任期終了後も生活が成り立って住み続けていただき、空き家活用の促進を図りたいと考えます。

【質問要旨】

1. 高齢者が健康で生き生きと暮らすための施策について
2. 防災対策について



梅澤 秀哉 議員

問 高齢者の難聴対策について昨年3月にも質問していますが、難聴の方の支援策の第一歩は早期に発見して医療機関を受診する機会をつくることだと思います。

早期発見の対策を研究した結果、どのような形が考えられますか。

答 現在実施しているフレイル予防事業やふれあいサロンでの健康づくりに関する教室等において、聞こえの重要性を認識してもらうための講座等を開催し、医療機関の受診につなげてまいりたいと思っています。



難聴啓発キャンペーン 協力：AC ジャパン

問 福島県の西郷村では、病院で検査して中度の難聴と診断された場合、いくつか条件はありますが補聴器購入の補助を行っています。

このような補助も必要だと思いますが、町としてはどのように考えますか。

答 医師により補聴器の装用が必要だと認められたもののうち、中度の難聴について現時点では町独自の補助等はありませんが、今後、支援の対象になるように検討してまいりたいと思っています。

問 9月の一般質問で、聞こえの改善のために住民課の窓口で軟骨伝導イヤホンの導入を提案しましたが、導入事例の調査結果はどうでしたか。

答 軟骨伝導イヤホンを導入した県内の2自治体を調査した結果、利用者から大変聴こえやすいということで非常に好評を得ているということでしたので、令和7年度より住民課の窓口で軟骨伝導イヤホンの設置を予定しています。

問 事前に想定できる災害には、町として早い段階で安全な区域に避難していただくため、早め早めに避難指示を出していくとのことですが、高齢者の中には運転免許を返納している方も増え、足下の悪い中を遠くの指定避難所まで徒歩で行くのは大変です。

例えば、バスなどで避難所への搬送などは考えられませんか。

答 徒歩での移動が困難な方や車のないご家庭が多い地域もあると思いますので、町・地域としてどのようなことができるか、自主防災組織などとも協議、検討を行いながら支援策を考えていきたいと思っています。

問 逆川排水機場の定期点検では、停電となった時でも非常用バッテリーに切り替わって稼働するかといった観点での点検は行われていますか。

答 電気改築工事で電気系統が新しくなったので、引き渡し時に停電試験は行っています。機械が新しくなったこともあるので、今後、電気設備点検等において停電試験を実施したいと思っています。

【質問要旨】

1. 令和7年度予算編成方針について
2. こどもまんなか政策について



小川 信子 議員

問 令和7年度予算編成方針の中の「誰もが幸せを感じる町」とは今までのキャッチフレーズの上位に位置するものなのか伺います。

答 全体の総称として誰もが幸せを感じる町に行き着ければと思っています。

問 現在の空き家バンクの登録数は2件です。店舗兼住宅も登録に含まれますか。

答 空き家バンクには併用住宅の登録が可能です。

問 県の移住・定住促進サイト、ベリーマッチとちぎに県内の各地域の移住体験ができる施設が案内されています。以前は町内にも民泊施設がありましたが、現在はなくなっているようです。地域おこし協力隊の空き家活用事業に民泊の運営を追加してはどうでしょうか。

答 地域おこし協力隊員を採用できて、空き家の所有者から借りることができたとして、民泊業を起業したり、民泊施設として運営者を募り貸し出すこともあり得ると考えています。

問 子育て支援センター事業を、いちご保育園とりんご保育園で実施していますが、利用人数が大幅に減少しているということです。お母さん同士が知り合いになる機会を増やすためにも、一カ所にまとめるという考えはありますか。

答 コロナ禍以降、急激に利用者数が減少しています。子育て支援センターは、保護者にとってもお子さんにとっても必要な施設だと思っていますので、一カ所にまとめることも検討していきたいと思っています。

問 児童館が開設して29年、児童センターが開設して24年となり、建物自体も設備も老朽化してきていると思います。現在はどうに対応しているのか伺います。

答 指定管理料の中に毎年修繕費を計上して、必要な物について修繕をしてもらっています。今後は大規模な修繕も必要になってくると思われます。



新橋児童館

問 こども誰でも通園制度について、この制度を実施する事業所に対する条件と現在保育園に通園しているお子さんと同じ環境で保育することになるのか伺います。

答 実施する事業所は保育園、認定こども園、幼稚園などが対象で、町の認定が必要になります。保育の状況については事業者と話し合いを進めていきたいと考えています。

問 こどもまんなか政策について、今後の計画について伺います。

答 今後はSNSなどを活用し、アンケートを行っていくなど、多くの若者に回答してもらえるような方法を検討したいと考えています。

アンケート結果のクロス集計など難しい面がありますが、各種色々な場面で意見を伺うことは必要と考えています。

【質問要旨】

1. 都市計画について
2. 学校給食無償化と食物アレルギー除去食の実施について
3. 補聴器購入費助成について



宮崎 美知子 議員

問 野木第二工業団地の公園整備は、豊かな緑陰あるオアシスとして、地元自治会等と協議しながら進めて頂きたいと思います。

答 公園は、工場で働く方の一次避難地として構想しました。2か所ともダスト舗装を行い、フェンスやあすまや、健康遊具等を設置する計画です。樹木等は、地元の意見も取り入れ、整備を進めて参ります。

問 高齢者等が、「歩いて暮らせる地域づくり」の施策として、道路沿いにベンチを設置する「街なかみんなのベンチ設置プロジェクト」が全国に広がっています。

東京都三鷹市でも、施設のバリアフリーは当たり前なのに、休めるところがないのは問題だという指摘を受け、「ベンチのある道づくり整備事業」を実施しています。

町では、酷寒酷暑のなか、高齢者がデマンドタクシーを外に立って待つ光景も度々見かけますが、ベンチ設置は、健康長寿をめざす野木町にこそ必要ではないかと思っています。



石段でひと休み

答 地区懇談会でも要望があり、本年度は、栃木銀行店舗前に1基置かせて頂き、他でも交渉中です。デマンドの利用頻度の高い商業施設は、暑さ寒さの対応も含め、運用方法と併せ設置をお願いしたいと考えています。

ベンチ設置を小さなことと捉えず、町全体の生活環境整備として進めたいと思います。

ベンチの表示案内も検討していきます。

問 食材費の自己負担である「学校給食費」の無償化が全国に広がっています。

公立小・中校等では、2023年度で1割の自治体が部分無償化を実施し、3割の自治体は完全無償化を実施しています。東京都は、2024年度から実施自治体に対し2分の1補助を始めましたが、今年度、30程ある東京都下自治体でも完全無償化が広がっています。

野木町の無償化実施について伺います。

答 町は、令和4年度より食材費の高騰分を負担し、今年度より一部助成(月1,000円)も行っています。県知事も無償化について考えていきたいと約束してくれ、国も考えている矢先ですので、その成り行きを見ながら町負担をもうちょっと上げられるかどうか検討しているところです。

問 学校給食の、食物アレルギー除去食の実施について伺います。

答 令和8年度中に卵の除去食から始め、環境が整った学校から対応をします。

問 加齢性の難聴は、認知症にも関わり、早めの手だてが重要です。解決策は、医療機器である補聴器です。町健診に難聴か否かの検査を加えられないか。また、購入費助成について伺います。

答 検査を考えても良いかと思っています。助成については、どのような支援が適正か研究して参りたいと思います。

【質問要旨】

1. 町の活性化策の取組について
2. 安全・安心の町づくりについて



鈴木 孝昌 議員

問 図書館YA(ヤングアダルト)応援キャラクターの名前を伺います。

答 仮称「キラリちゃんとヒカルくん」という名前が現段階内部で案として挙がっています。

図書館YA
応援キャラクター

問 YA応援キャラクターの等身大のパネルが、町図書館・各学校図書室の入り口で町民や学生をお出迎え。ぬいぐるみは、町図書館・各学校図書室の椅子に座らせ読書をしてもらうような活躍の場・活用方法はどうか。

答 予算等と活用用法を含め、今後研究したいと考えています。

問 小学生の時期に読書習慣を身に付ける為に、クリアファイル・しおり・キーホルダー・シール等を「ブックプラスワン」と一緒にプレゼントすることを提案いたします。

答 小学生のターゲット層へのPRは考えていませんでしたが、提案された取り組みは十分選択肢として考えていきます。

問 「移動図書館ひまわり号」をYA応援キャラクター仕様のラッピング車で、読書の町野木宣言のPRはどうか。

答 購入から29年経過していますので、更新時には検討したいと考えています。

問 新庁舎構想にあたり、第8次総合計画並びに都市計画との整合性をどのように考え計画を進めていくのか伺います。

答 総合計画に基づく人口フレーム・デジタル技術・SDGs・ユニバーサルデザイン・社会変化・業務課題に対応する組織改編・執務空間等に配慮し、新しい総合計画との整合性も保ち検討したいと考えています。

問 各公共施設の維持管理費を踏まえ、公共施設・商業スペースを加えた複合型が理想と考えるが、審議されているか伺います。

答 野木町公共施設等総合管理計画の基本方針の中、集約・統合が基本にありますので、町民が利用しやすい庁舎を目指す為に求められている機能の配置等詰めていく事項と認識しております。

問 「新営一般庁舎面積算定基準」「地方債同意等基準」「他の自治体からの情報」を総合的に考え、延べ床面積・事業費の想定について伺います。

答 国の基準に基づき庁舎内検討委員会で、公民館等複合化すると仮定して試算すると三十数億円の建設費用となります。

問 求められる機能として、議会機能が考えられる。議会もその審議に加えて頂きたいと考えています。

答 今後、議会と協議・調整させていただきます。



令和6年12月定例会の各議案に対する賛否（議長を除く）

（賛否の分かれた案件のみ記載しています。他の案件は全員賛成で可決されました。）

議案等	議員	宮崎美知子	眞瀬 薫正	館野 孝良	坂口 進治	鈴木 孝昌	針谷 武夫	折原 勝夫	小泉 良一	梅澤 秀哉	小川 信子	野田 光典	久木 亘佑	賛成	反対	採決結果
指定管理者の指定		×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	11	1	可決
国に対して「健康保険証の存続を求める意見書」の提出を求める陳情書		○	×	×	○	×	×	×	×	×	×	○	×	3	9	不採択

※表内の○は賛成、×は反対

議会の主な活動記録

令和6年

- 11月 7日(木) 第2回栃木県町村議長会
議長会議・議長研修
- 8日(金) 議会全員協議会
- 10日(日) 産業祭
- 13日(水) 戦没者追悼式
- 14日(木) 議会運営委員会
- 15日(金) 総務経済常任委員会所管事務調査
(ゼブラ株式会社野木工場)
- 16日(土)・20日(水)
町民と議会との意見交換会
- 19日(火) 栃木県町村議会議員研修会
- 22日(金) 議会全員協議会
学校教育祭・小中合同発表会

11月29日(金)～12月6日(金)

- 第6回野木町議会定例会
 - 30日(土) 商工会きらりフェスタ
 - 12月 4日(水) 文教民生常任委員会
 - 19日(木) 議会全員協議会
- 令和7年
- 1月10日(金) 野木町賀詞交歓会
 - 12日(日) はたちを祝う会
 - 15日(水) 議会全員協議会
予算決算常任委員会
 - 19日(日) 野木町駅伝大会
 - 22日(水) 野木町教育研究会全体研修会

* 編集後記 *

令和7年最初の議会だよりを手にとってくださいましてありがとうございます。また、日頃より野木町議会に格別のご厚情を賜り、心より御礼申し上げます。本年も多くの皆さまにご愛読いただける議会だよりをつくって参ります。

さて、今号は、各委員会の視察研修について、子育て世代を対象とした意見交換会について、各議員による一般質問など、多くの内容でお届けいたします。また、12月定例会において、野木中学校、野木第二中学校の生徒の皆さまが議会傍聴に来てくださいました。真摯に向き合っていた姿は、今でも心に残っており、頼もしさ感謝の想いが溢れて参ります。

結びになりますが、皆様にとって幸多き春の門出となりますよう、深くお祈り申し上げます。

議会だより編集副委員長 久木 亘佑

野木町議会のページ



(野木町公式 HP 内)

議会の情報はこちらから
ご覧いただけます。

野木町議会

検索

URL :

<http://www.town.nogi.lg.jp/page/dir.000066.html>

《編集発行 議会だより編集委員会》

委員長 梅澤 秀哉 副委員長 久木 亘佑
委員 館野 孝良 委員 小泉 良一
委員 小川 信子 委員 野田 光典

〒 329-0195 栃木県下都賀郡野木町丸林 571
TEL 0280-57-4106 FAX 0280-57-4190
E-mail : gikaijimukyoku@town.nogi.lg.jp